堀江中学校　校長室だより　　令和8年度 No.27

さくら

令和8年11月9日（月）

ＡＩについて その2

最近、「AIを使った不正アクセス」が大きな問題になっています。AIという最新技術が悪用され、大量の個人情報が盗まれる被害が出ています。私にも、2つの企業から「あなたの個人情報が漏れた」との通知がきました。こうしたニュースを聞くと、「AIは恐ろしいものだ」「技術が進歩しすぎるのは危険だ」と思う人がいて当然でしょう。しかし、悪いのは「AI」という技術そのものでしょうか。

答えは「ノー」です。AIに悪意があるわけではありません。どんなに高度な技術であっても、それを悪用し、誰かを傷つけるのは常に「人間」です。それは、決して許されるものではありません。

歴史を振り返ってみても、技術革新そのものには「善」も「悪」もありません。たとえば「ナイフ」は、料理に使えば美味しいご飯を作るための道具になりますが、人を傷つける武器にもなるのです。「インターネット」も、世界中の人とつながり、学習を深める素晴らしい道具ですが、誹謗中傷や詐欺に使われれば、これも恐ろしい武器となります。

つまり、どんなに素晴らしい技術革新であっても、それが「人類の役に立つ道具」になるのか、「人を傷つける武器」になるかは、それを使う人間の意識（善意）にかかっているのです。

皆さんはこれから、さらに技術が進化した社会を生きていきます。今までになかったデバイスが出現するかもしれません。そして、SNSやAIを扱う機会はもっと増えていくことでしょう。

このような時代を生きるのに大切なのは、「誰かが嫌な思いをしないか」「これは正しいか正しくないのか」と、常に自分に問いかけることです。皆さんが、優しさと良識を持った人間へと成長してくれることを願います。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。